



～市民と響き合う議会～

ひびき

八王子市議会だより

令和5年(2023年)
第1回定例会

No.269

令和5年(2023年)
5月1日発行

令和5年度当初予算案を可決

未来の八王子へ向けた予算を議会がチェック!



「初夏来たる」(南浅川 陵東橋付近)

今号は、武分方町在住の 箕箸 俊一 さんの作品です。

 南浅川

浅川の支流であり、川原に下りて水辺を楽しむ姿が見られます。端午の節句の時期には、長房市民センター前の陵東橋付近で、たくさんの鯉のぼりが空を泳いでいます。

チェック!

市長が提案した5年度当初予算は、予算等審査特別委員会で審査し、本会議で記名投票により原案のとおり可決しました。

2～9ページでは、予算審議の主な内容を掲載しています。

市長が提案した令和5年度予算

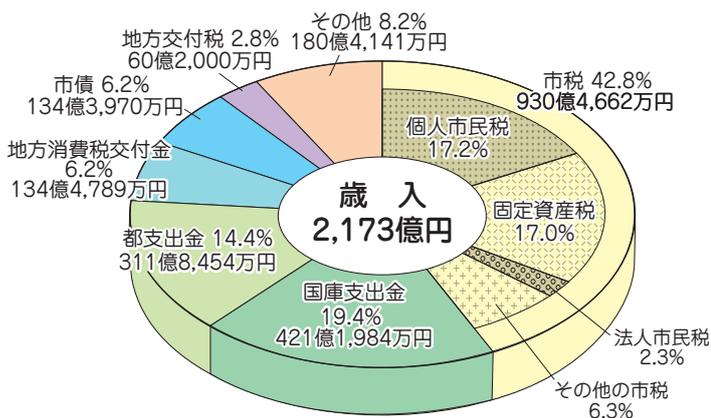


この予算案を
チェック!

予算総額4,296億円のうち、
一般会計は2,173億円 (前年度2,083億円)

歳入の特徴

- 納税義務者の増加や企業収益の持ち直しによる市税収入の増
- 個人消費などが堅調に推移する見込みによる国からの地方消費税交付金の増

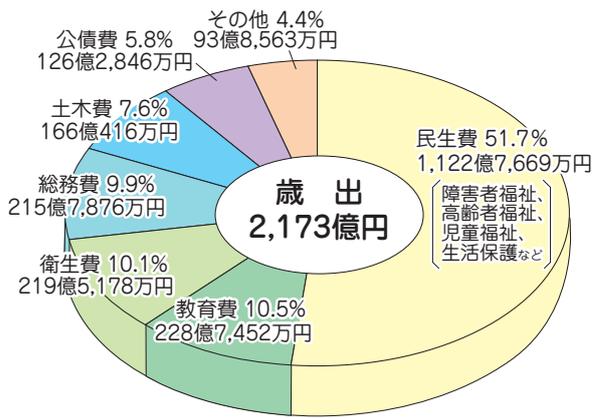


この財源が



歳出の特徴

- 障害者自立支援給付や生活保護費の増加による民生費の増
- 給食センター整備の進捗による教育費の増
- 八王子駅南口集いの拠点の整備による土木費の増



こう使われる

令和5年度(2023年度)当初予算の規模()は前年度

会計	当初予算額	増減額	増減率
一般	2,173億円 (2,083億円)	90億円	4.3%
特別 [8会計]	1,906億8,641万円 (1,886億6,918万円)	20億1,723万円	1.1%
公営企業 [1会計]	216億1,470万円 (222億7,132万円)	△6億5,662万円	△2.9%
合計	4,296億111万円 (4,192億4,050万円)	103億6,061万円	2.5%

5年度予算の詳細内容は
こちら⇒



令和5年度当初予算審議

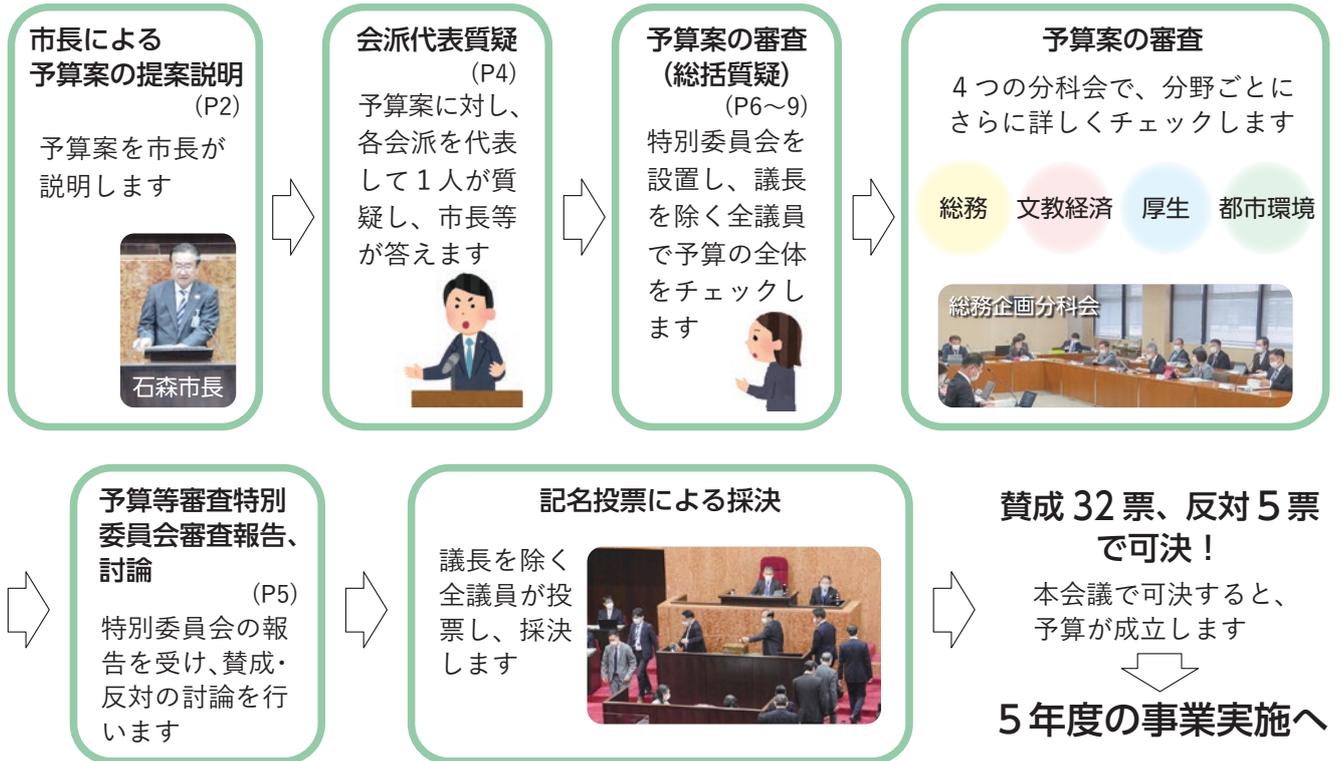
「八王子未来デザイン2040」の実現へ

予算を議会が

予算が決まるまで

() は本紙掲載ページ

市議会では、市長が提案した予算案について、「市民の税金がどのように使われるのか」「適正に使われるのか」などの観点で、しっかりチェックし、市に対してさまざまな質疑を行います。



議員がチェックした

主な取り組みは

市の新たな基本構想・基本計画「八王子未来デザイン2040」の計画初年度となる今回の予算。未来の八王子へ向けて、議員が注目したのは？

- 行財政運営
- 安全な保育環境への取り組み
- 特殊詐欺対策
- 子ども家庭支援センターの機能強化
- 未来デザインの方針に向けた具体的な取り組み
- 高校生等の医療費助成
- 家庭の教育費負担の軽減
- 介護人材の確保
- 不登校対策
- 八王子駅南口集いの拠点整備
- 農業と福祉の連携
- 西八王子駅周辺地区のまちづくり
- 獣害対策の強化
- ゼロカーボン実現への取り組み
- 公園の整備

主な質疑内容は次のページから！



など



録画中継は
←こちら

予算案に 対する 会派代表質疑

3月3日の本会議で、各会派が代表質疑を行いました。主な質疑の要旨を発言順に掲載しています。

日本共産党
八王子市議会議員団
鈴木 勇次



給食費無償化への考えは



給食費無償化で家庭の負担軽減を

問 他自治体では給食費が無償化への急速な動きがある。5年度からの市計画に掲げた家庭の教育費負担軽減に、無償化は大きな効果があるのではないかと。

答 無償化する自治体があることは承知しているが、本市は就学援助など家庭の状況に応じて充実させており、給食費に限定した支援は考えていない。

軍拡にストップの意思を

問 国は軍備拡大を強力に進めようとしている。非核平和都市宣言を行った本市は、軍拡ストップの明確な意思を示すべきでは。

答 宣言を行った都市として、引き続き、非核三原則の完全実施を願い、核廃絶と軍縮の観点から発信を続けていく。

立憲民主・市民の会



安藤 修三

児童相談所との連携強化を



児相の再編に伴う市との連携は

問 都は八王子児童相談所(児相)の管轄を本市単独とする再編案を示した。市とのさらなる連携強化が期待されるがどうか。

答 児童虐待は、対応困難な事案が増えており、専門的なスキルと人材の確保が本市でも課題であることから、当該再編により、児相と市の機動的な体制の構築を期待している。

住民主体のまちづくりを

問 西八王子が民間の調査で住みやすい街1位に選ばれた。当該地区のまちづくりを住民主体で進めたいがどうか。

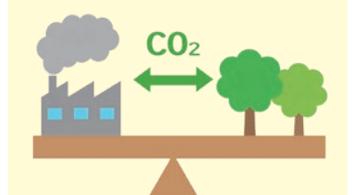
答 住みやすいまちとして選ばれ続けるよう、住民主体のまちづくりの推進など、都市機能の充実と魅力の向上を図っていく。

市民クラブ



星野 直美

ゼロカーボン※への投資は



ゼロカーボンの実現に向けて

問 緑豊かな本市が、立地した企業と森林維持の活動を行うことで、八王子版排出権取引への発展が期待できる。ゼロカーボンに向けた投資の考えは。

答 5年度から、みどりを守る人材育成に着手するなど、二酸化炭素の吸収源としての貴重なみどりの保全を推進していく。

「共創」の考え方は

問 事業者等との連携を進め、同じ目的を持ち協力して取り組むことが、新たな市計画に示す「共創」につながるのではないかと。

答 これまでの連携による協働を進化させ、多様な主体と目的を共有する場を構築し、対話と共感により、解決策を共に創り出す「共創」を推進していく。

自民党新政会



鈴木 玲央

保育環境の向上に向けて



保護者が安心できる保育の提供を

問 保育園での虐待や送迎バスでの事故が全国で発生している。安全で安心な保育環境への考えは。

答 日頃、高い志を持って取り組んでいる保育者に感謝している。一部の不適切な保育は、保育者全体の信用が揺らぎかねず、遺憾である。今後も安全な保育環境づくりに努め、関係機関と一丸で子どもの健全な成長を支えていく。

さらなる中核市権限活用を

問 中核市権限をさらに活用したまちづくりは、移譲された権限を活用し、川口土地地区画整理事業など、特色あるまちづくりが実現できるようになった。今後も中核市に移行して良かったと実感できるまちづくりを進めていく。

答 国は定期接種の議論も進んでいるが、高まる市民ニーズや都の補助制度も踏まえ、スピード感を持って制度設計に取り組むたい。

八王子市議会公明党



美濃部 弥生

医療費助成の要件撤廃を



所得によらない医療費助成を

問 4月から始まる高校生等の医療費助成制度には、所得制限の要件がある。一部の区市町村では、自主財源で所得制限を撤廃しているが、本市の考えは。

答 都の制度だが、子ども・子育て世帯を支援する重要な施策と認識している。区市町村の対応に格差があることは課題であり、都に強く要請していく。

带状疱疹ワクチンの助成を

問 带状疱疹ワクチン接種に対し、他自治体と同様に、本市でも早急に費用の一部を助成できないか。

答 国の定期接種化の議論も進んでいるが、高まる市民ニーズや都の補助制度も踏まえ、スピード感を持って制度設計に取り組むたい。

※二酸化炭素など温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いて、排出量の合計を実質的にゼロにすること
また、排出権取引とは、温室効果ガスを排出する権利を売買する仕組み

予算案に対し、こう考える

録画中継は
こちら⇒



討論

3月28日の本会議で、5年度予算案の採決に先立ち、議員が賛成・反対の立場から討論を行いました。各議員の討論から、主な内容を掲載しています。

討論とは...

本会議で議案を採決する前に、議案に対し、賛成か反対かの意見を表明することです。会派を代表した議員に加え、会派に所属しない議員も意見を表明できます。

賛成

八王子市議会公明党
美濃部 弥生



带状疱疹ワクチン助成の早期開始を

未来の設計図である八王子未来デザイン2040の初年度となる本予算は、市債の減など、財政の健全化に向けた予算編成であると評価する。
健康の大切さを意識し、自ら健康づくりに取り組むことは、今後ますます重要になる。多くの市民の声に応えるため、带状疱疹ワクチン接種の助成の早期開始を要望する。
市民一人ひとりが主役となり、輝けるまちの実現に向け、スピード感を持って取り組むことを求め、本予算に賛成する。

賛成

自民党新政会
小林 秀司



未来への第一歩となる予算に期待

本予算には、子ども家庭支援センターの相談機能強化と、保健福祉センターの母子保健分野との連携強化を図る一体的な整備や、ひとり親家庭の多様な事情に考慮した支援の強化等が示されている。また、さらに進む超高齢社会に重要な介護人材の確保などの取り組みも示されており、大いに評価する。
5年度から始まる八王子未来デザイン2040に掲げる「みんなが目指す2040年の姿」の実現の第一歩となる施策展開を期待し、本予算に賛成する。

賛成

立憲民主・市民の会
安藤 修三



新たな財源を生み出す仕組みを

市民センター等の予約にオンラインの決済機能が付いたシステムを導入することを評価する。
一方、システム関連経費や外部委託費等の物件費は、10年で約150億円も増加している。今後、全庁横断で検証を行い、効果や発注額の適正化等を図ることで、新たな財源を生み出す仕組みを検討してもらいたい。
さまざまな方法で財源を生み出し、南口集いの拠点整備等をはじめとする未来と人への投資のさらなる充実を要望し、本予算に賛成する。

賛成

市民クラブ
若林 修



農業者に寄り添った支援を期待

人口減少が進む中、歳入では市税収入の増額を見込んでいる。これは、多摩26市の中でもトップクラスの収入率によるものであり、高く評価する。
また、歳出における障害者の農業体験支援は、就労の場を生み出し、新たな働き手の確保にもつながる。本市の農業を持続的に継承していくため、農業者に寄り添った支援を期待する。
市民の命と生活を守り、「みんなが目指す2040年の姿」の実現に向けた市政運営を要望し、本予算に賛成する。

賛成

若尾 喜美絵



不登校の子どもに対し、給食センターで給食を提供することは、地域での居場所づくりとして画期的である。今後は、教育と福祉の連携と融合による進化を要望し、本予算に賛成する。

諸派

反対

木田 彩



ワクチンの副反応被害を伝えるべき

子宮頸がんや子どものコロナワクチン接種では、副反応被害等の事実を伝えるべきである。子宮頸がん対策で大事なことは、検診と包括的性教育の充実であると指摘し、本予算に反対する。

画期的な取り組みを評価

反対

日本共産党
八王子市議会議員団
望月 翔平



国保税の値上げに反対

本予算は、国民健康保険税を6年連続となる値上げで計上し、かつ過去最大の値上げ幅としている。市民生活が厳しい状況の中、到底認められない。国民健康保険運営協議会委員の反対意見や、多くの署名とともに提出された値上げ中止を求める請願による市民の声を重く受け止め、値上げは中止すべきである。
また、経営計画に示された市独自の補助事業の廃止・縮小等の方針は、住民福祉を大きく後退させる重大な問題と指摘し、本予算に反対する。

諸派II 会派に所属しない議員

5年度予算案を審査しました



予算等審査特別委員会の審査から 総括質疑

使い方・いかし方を 議会がチェック



星野 直美 委員長



及川 賢一 副委員長

市民と共に策定した八王子未来デザイン2040をもとに、施策を展開する。

問 未来の八王子の設計図として描いた八王子未来デザイン2040の初年度に当たる5年度予算の特徴は。

答 未来デザインに掲げた重点テーマを踏まえ、子育て施策の充実やシティブロモーションの推進、主要駅周辺の拠点・回遊空間の形成などの取り組みを計上した。また、経営改革の取り組みを掲げ、未来への投資と財政の持続性確保の両立を目指している。

問 未来デザインの施策を着実に展開するため、経営計画を策定したが、計画に掲げる重点事業の選定の考え方は。

答 未来デザインに掲げる重点テーマ・取組方針に紐づく施策に対し、貢献度が高い事業を重点事業としている。

問 民間と行政とで、共に創っていく「共創」の取り組みを未来デザインに掲げている。デジタルをはじめ、今後も進化を続けるさまざまな技術を効果的に活用するため、どのように「共創」を進めていくのか。

答 多様化、複雑化する課題の解決のため、民間事業者や大学等との「共創」がますます重要

「みんなで目指す2040年の姿」の実現に向けて



未来デザインの内容はこちら→



未来の八王子の設計図として、市民と共に新たに策定した基本構想・基本計画である八王子未来デザイン2040

になると考えている。経営計画においても多様な主体と連携、協働できる枠組みを構築する取り組みを掲げており、これらを着実に進め、「共創」につなげていく。

問 までの財政見通しが示されているが、下降する歳入と上昇する歳出との差をどのように捉えているのか。

答 歳入確保や適正な事務執行など、行財政改革の不断の取り組みにより、これまで健全財政を堅持してきたが、今後の厳しい財政状況には強い危機感を持っている。未来デザインに示す「みんなで目指す2040年の姿」の実現に向け、中長期的な視点で財源を確保するとともに、効果の高い事業への重点投資で、持続可能な財政運営を推進し、未来への責任を果たしていく。

市民の安全・安心を確保するため、特殊詐欺対策として自動通話録音機の無償貸与などを行う。

特殊詐欺対策 市民の暮らしを守るには



特殊詐欺被害を未然に防ぐために有効な自動通話録音機を無償で貸し出し

問 本市は、さまざまな特殊詐欺対策を行っているが、被害が減らない理由をどのように捉えているのか。

答 詐欺グループの幹部まで捜査が及びにくいことや、手口の巧妙化、コロナ禍で近隣等との交流が減ったことなどの影響があると認識している。

問 対策の一つである自動通話録音機の貸し出し状況は。

答 警察署等と連携し、現在まで約2千600台を高齢者に貸し出し、5年度も360台の貸し出しを予定している。約9割の方の迷惑電話が減り、利用者の被害も確認されておらず、未然防止に有効と認識している。

問 今まで以上に警察との関係を密にし、市民の暮らしを守ってもらいたいと思う。

答 警察署とは、特殊詐欺は市民の安全・安心を脅かす卑劣な犯罪として、最重要課題との認識を共有している。今後も相互に協力し、市民の安全と財産を全力で守っていく。



5年度予算案は、全議員（議長を除く）で構成する予算等審査特別委員会（星野直美委員長、及川賢一副委員長）に付託され、全体会議と分科会において慎重に審査しました。

ここでは、3月7日～10日の全体会議で行った総括質疑の主な質疑と答弁の要旨を掲載しています。



録画中継はこちらへ



特別委員会を設置して令和

市民のお金

地域ぐるみの獣害対策を推進するほか、農作物獣害防止柵の設置費用を補助する。

問 町会・自治会が行う獣害対策への補助を創設するが、補助額が少ないと考える。獣害は、

農業者が営農を断念することにもつながるため、対策は地域と一緒にしっかりと取り組んでもらいたいだろうか。

答 獣害対策には、地域等との連携が重要であり、協力体制の強化に取り組んでいる。引き続き、専門家を交え、地域の実情に即した対策を推進していく。

問 獣害防止の電気柵などの設置費用補助について、昨年10月に利用者へアンケート調査を行ったが、その結果を今回の予算へ

障害者の就労や社会参加を促進するため、障害者の農業体験に対し、支援を行う。

問 5年度に創設する障害者の農業体験支援の内容は。

答 就労支援等を行う障害福祉サービス事業所と、体験を受け入れる農業者に、作業時間に応じた補助金を交付するものである。受け入れ可能な農業者を確保し、

農業と福祉の連携は

作業内容等を踏まえ、体験を希望する事業所へとつないでいく。

問 農業の新たな担い手として、農業と福祉の連携の可能性をどのように捉えているのか。

答 障害者の就労機会の創出だけでなく、遊休農地の増加や、高齢化による農業就業人口の減少等の課題を抱える都市農業においても、新たな担い手の確保につながる取り組みと考えている。

獣害対策の強化で農作物被害の軽減を



イノシシやサルなどの野生獣から農作物を守る電気柵などを設置する費用を補助

どのように反映したのか。

答 申請回数等に満足していないとの意見があったため、年度内に2回申請できるように制度を改正する予定である。多くの農地を所有する方などに電気柵の設置を促進することで、農作物被害の軽減につながると考えている。

不登校等の対応のため、スクールソーシャルワーカーを増員し、登校支援の体制を強化する。

不登校・いじめへの対策は



不登校児童・生徒への支援にも学習用端末を活用し、個々に応じた対応を

問 スクールソーシャルワーカー※（SSW）を2人増員し、15人体制にするとのことだが、現状は。

答 不登校児童・生徒のうち、約600人が、SSWの支援や適応指導教室等の登校支援を利用している。また、SSWは、家庭訪問や面談等のほか、学校の対応力向上のための後方支援も行っている。

問 一人1台の学習用端末を活用し、児童・生徒の状態に応じた登校支援を行ってもらいたいだろうか。

答 端末を活用し、本人や保護者との面談・相談に応じている。今後は学びの場の拡充として、端末を活用した学習内容の充実等を検討していく。

問 いじめの訴えが出た際は、丁寧に対応してもらいたいだろうか。

答 いじめ問題に実効的に取り組む学校いじめ対策委員会に、SSWが参加することで、児童・生徒に寄り添った支援の充実を図っていく。



予算等審査特別委員会を設置し、
予算案を審査(委員会開会時)

高校生等を養育している保護者等の負担軽減のため、医療費の一部を助成する。

問 高校生等を養育している保護者等への医療費の助成事業は、子育て家庭への切れ目ない支援の強化と考えるがどうか。

答 本事業は、0歳から18歳までの一貫した支援として、本市が取り組んでいる妊娠期からの切れ目ない支援と合致するもの

子育て家庭を支援するため、子育て相談ができる場や、気軽に集える場を提供する。

問 子育て相談等ができる子育てひろばをどのような考えで設置しているのか。

答 保育サービスを利用していない3歳程度までの親子が気軽に集い、子育てについての相談や情報が得られるよう、自宅からベビーカーで行ける範囲内の児童館や保育園等に設置している。

問 八王子駅ビル内にある親子つどいの広場を改装し、5年度から一時預かりが始まるのとこのことである。年間利用者数を8年度に現在の2倍と設定しているが、目標に向けた取り組みは。

親子が気軽に集える場の提供は



JR八王子駅ビル内の6階から7階に移転し、リニューアルオープンする親子つどいの広場「ゆめきつず」

答 気軽に立ち寄れる駅ビル内の立地をいかし、一時預かりのほか、妊娠や子育てなどの情報が手軽に得られるコーナーの設置など、他の広場にはない特徴を設け、利用推進に努めていく。

高校生等の医療費助成は

である。子どもが必要な医療を適切に受けられるよう、しっかり取り組んでいく。

問 4月からの事業開始に当たり、助成の申請が必要な方に漏れなく周知しているのか。

答 就労等で独立している方も含め、助成の対象となり得るすべての方に案内を送付している。また、市ホームページでも周知しており、事業開始の際には広報紙でも周知していく。

介護人材の確保等のため、就職相談会のほか、介護事業所に対する課題解決に向けた支援を行う。

介護人材の確保へさらなる支援を



就職相談会では、市内の介護事業所や障害福祉事業所と個別に相談も

問 今後さらなる高齢化が見込まれる中、介護人材の慢性的な不足が問題となっている。市では、就労希望者と介護事業所を結ぶ就職相談会を行っているが、参加者を相談会にさらに呼び込む工夫が必要ではないのか。

答 相談会や、介護資格取得費用の補助等の支援制度をわかりやすく、効果的に周知することが重要と考えている。今後も、ハローワークなどと連携を進めるとともに、現在利用している周知方法を検証し、より効果的な方法を探っていく。

問 介護事業所が抱える課題を解決するため、新たに行う研修の内容を聞きたい。

答 従業員の意欲向上や業務の効率化など、経営上の困りごとに関する相談に対応し、課題解決に向けた計画策定の支援も行う。これにより、現場の従業員がいきいきと働ける環境づくりにつながると考えている。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総括質疑は、定足数の範囲内で人数制限を行い、他の委員は別室にてタブレット端末で視聴

総括質疑とは...

予算等審査特別委員会の全体会議において、会派ごとの持ち時間制で行う質疑のことです。

今定例会の総括質疑は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出席委員の人数制限を行いました。

民有緑地の適切な管理のため、新たに斜面緑地保全区域の土地所有者への支援などを行う。

問 斜面緑地保全区域の土地所有者に対し、5年度から始まる新たな支援制度の内容は。

答 住宅地や道路と隣接する樹木や、倒木で被害を及ぼす危険性のある樹木のせん定・伐採等に対し、事業者への委託経費の一部を補助するものである。

問 この支援制度で、どのような効果があるのか。

八王子医療刑務所跡地を活用し、学び・交流・防災の機能を備えた集いの拠点を整備する。

問 八王子駅南口集いの拠点の今後の整備スケジュールは。

答 6月から既存建物を解体し、6年度の中頃には建築工事を開始する。8年度の開館に向け、工事を推進していく。

問 本整備には、誰もが利用しやすいインクルーシブ※な視点が不可欠ではないか。

答 本整備では、身体能力・年齢・性別・国籍等にかかわらず、さまざまな利用者に楽しんでもらえるよう、点字標示・音声案内

**八王子駅南口集いの拠点
どのように整備するのか**



集いの拠点イメージ図
利用しやすく、安全・安心と快適さを備えた施設を目指して整備

内・多言語表記などのユニバーサルデザインを導入する予定である。また、遊具やトイレなども、すべての人に優しい施設となる設計等を考えている。

緑地保全の取り組みは

答 本制度を土地所有者に案内することで、市との関係をより密に感じてもらえると考えている。また、負担軽減を図ることで、緑地周辺の安全確保と、みどりの質が向上すると考えている。

問 緑地を守る人材を育成する講座も新設するが、内容は。

答 講義に加え、斜面緑地保全区域等で実習を行う予定である。また、企業・都と連携し、ボランティア活動や講習会の紹介など、参加者が活動の場を見つかる機会や情報を提供していく。

障害の有無によらず、誰もが安全に遊べるインクルーシブ遊具の導入に向け、実施設計を行う。

**障害の有無にかかわらず
一緒に遊べる遊具の整備は**

問 同じ遊具で空間を共有し、さまざまな子どもとの交流機会が増えると考えている。これに伴い、互いを理解・尊重する関係づくりや、障害への理解が深まることを期待している。

答 インクルーシブ遊具の導入で、公園利用者に期待することは。

問 公園に導入予定のインクルーシブ遊具の整備スケジュールは。

答 5年度で庁内での連携や関連団体等へのヒアリングを行い、設置する公園と遊具などを絞り込む。それを踏まえ実施設計を行い、6年度に整備する予定である。

問 どのような遊具を、どのような公園に設置するのか。

答 ブランコや回転系の遊具が想定されるが、関連団体等へのヒアリング後に決定したい。設置する候補地として、駐車場・トイレ等と広場との移動経路が、バリアフリーに適合している公園を考えている。



写真提供：(公財)東京都公園協会

都立砧公園(世田谷区)内のインクルーシブ遊具：船型遊具「みらい号」

※「包括的、物事の全体を包み込む」の意味

障害の有無や性別・国籍・宗教の違いなど、さまざまな背景を持つあらゆる人が排除されないこと

令和5年 第1回定例会

本会議

5年度予算など51議案を可決

5年第1回定例会は、2月22日に開会し、本会議において議案等を審議し、5年度当初予算など市長提出議案51件を可決しました。このほか、議員提出議案の意見書1件を否決し、また、請願1件を不採択としました。

可決した市長提出議案のうち、委員会への付託を省略した議案は次のとおりです。

●議案等の審議結果及び委員の氏名は12・13ページへ

可決した付託省略議案

- 人権擁護委員の候補者の推薦
- 暴力団排除条例の一部改正
- 社会福祉審議会条例の一部改正
- 保育の必要性の認定基準に関する条例の一部改正
- 一般職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部改正
- 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 学校給食センター檜原新築工事請負契約の変更



2年にわたり取り組んだ所管事務調査の結果を報告する岩田総務企画委員長

議員提出議案

議員提出議案は、意見書1件を審議し、否決しました。

請願

提出された請願は、厚生委員会へ付託し、審査を行った後、本会議で不採択としました。

●内容等は12ページ「厚生委員会」へ

不採択とした請願

○国民健康保険税の負担軽減を求める請願

所管事務調査

2月22日の本会議において、

総務企画・厚生・都市環境委員会の委員長が、所管事務調査の結果を報告しました。報告では、調査の集大成として、市政への提言も行いました。

(文教経済委員会は昨年9月に報告・提言済みです。)

報告書や提言など
調査結果はこちら↓



●所管事務調査の活動状況は14・15ページへ

委員会

常任委員会で付託議案を審査

本会議で付託された市長提出議案22件及び請願1件、並びに継続審査となっていた請願1件は、各常任委員会で慎重に審査を行いました。主な審査状況は次のとおりです。

総務企画委員会

開催日 2月24日

●一般会計補正予算

デジタル地域通貨を試行的に発行する経費を計上

問 市内加盟店のみで利用できるデジタル地域通貨のた

めに導入するスマートフォンアプリは、どのようなシステムを考えているのか。

答 まずは利用者にとって、わかりやすく、使いやすいくことを重視したい。また、システムの動作に不具合が生じないよう、安定性等も重要である。一方、店舗には可能な限りコストを掛けず導入できるようにするとともに、手数料負担を求めないことで、今までキャッシュレス決済を導入していない店舗にも協力してもらいやすいシステムにしたいと考えている。

問 デジタル地域通貨の導入で期待する効果は。

答 デジタル地域通貨を導入する利点として、その利用を市内だけに限定することや、実際の利用情報を市が取得することが可能となる。情報を取得し、お金の流れを分析することで、市内経済の活性化につなげたいと考えている。

問 デジタル地域通貨は円単位の単位を設定すれば、商品の購入だけではなく、地域で特別な体験を受けられるなどの使い方もできるのではないか。

答 今回は試行であり、地域経済の活性化の目的から、買い物時にわかりやすい円単位での実施を検討している。他自治体では、別に設定したコインなどを活用することで、地域独自の体験を提供する例もあり、今後、検討対象としたい。

問 デジタル地域通貨は円単位の単位を設定すれば、商品の購入だけではなく、地域で特別な体験を受けられるなどの使い方もできるのではないか。

結果 可決すべきものと決定

答 他自治体では、市民同士で地域通貨をやり取りしている例もあり、将来的には検討の対象としたいと考えている。今回は、試行期間が短いこともあり、地域通貨で支払いを受けたい店舗が、市に請求を行い、現金で受け取る単純な仕組みを想定している。



スマホに入れたアプリを使用し、店舗で支払うことができるデジタル地域通貨

文教経済委員会

開催日 2月24日

■一般会計補正予算

学校の感染症対策に必要な経費を計上

問 新型コロナウイルス対策として、国からの補助金を活用するが、今回の補助の対象は。

答 学校の感染症対策を続ける上で、必要となる消毒液や保健衛生用品、換気用の備品の購入経費が対象である。

物価高騰による学校給食食材費の増額分を計上

問 物価高騰の中、給食を提供している上で、どのような工夫を行っているのか。

答 使用する食材について、肉の部位の変更や、果物・野菜の種類を替えるなどの工夫で対応している。

経営が厳しい事業者への緊急支援金の経費を増額

問 物価高騰等の影響を受けた事業者が対象だが、本補正で、従業員20人未満の事業者への支援分を大幅に増額する理由を聞きたい。

答 支援金の申請状況から、小規模の事業者の割合が当

初の見込みより高いためである。円安による輸入資材の高騰等の影響が、小規模の事業者ほど大きく出ていると考えている。

問 支援を行うのであれば、その効果をきちんと測定するべきではないか。

答 今回の支援金は、事業継続の意思がある事業者への緊急対策だが、市として事業者の状況を把握することは必要と認識している。事業者からの相談を受けている金融機関等の声も精査し、今後も効果的な支援を考えていきたい。

結果 可決すべきものと決定

■中小企業次世代人材確保支援条例の廃止

市内への就労促進策を新事業に統合するため廃止

問 本条例では、対象の市内企業へ就職した若者に奨励金を2回に分けて給付していたが、2回目の給付を受けた方が少なく、途中での離職・転出が考えられる。新たな定住促進施策への統合に当たっては、その理由や傾向をしっかりと検証することが重要ではないか。

答 2回目の給付が少ない原因の把握や分析は、しっかりと行う必要があると考えている。市内に数多くある大学の学生に

定住・就職してもらええる制度設計について、柔軟に考えていきたい。

結果 可決すべきものと決定

■学校給食センター寺田新築工事請負契約の締結

学校給食センター寺田を新築する契約を締結

問 配食予定校の生徒数をもとに、配食数を決めているが、少子化が進むと考えられる。今後、学校再編を進める上では、給食センターの維持管理も含めて考えるべきではないか。

答 今後の動向を見据え、学校再編に当たっては、給食センターの状況も慎重に判断しながら進めなければならないと考えている。

結果 可決すべきものと決定



学校給食センター寺田 (完成イメージ)
当センターの開設で、市内全域での温かい中学校給食が実現 (令和6年完成予定)

厚生委員会

開催日 2月27日

■一般会計補正予算

新型コロナウイルスワクチン接種に要する費用を増額

問 4月以降の新型コロナウイルスワクチン接種や体制確保のための増額とのことだが、子どもの副反応の被害も出ており、正しい情報をしっかりと提供することが必要ではないか。

答 市ホームページで、副反応等の必要な情報が随時公表されている。ホームページに案内するなど、引き続き情報提供に努めていく。

送迎バスに安全装置を設置する経費等を計上

問 幼稚園や保育施設の送迎バスに、子どもの置き去りを防ぐ安全装置を設置することである。設置が施設側の新たな負担にならないようにしてもらいたいと思う。

答 国は、補助対象になる装置と金額を示しており、加えて都の補助を活用することで、費用は足りると考えている。装置に頼るだけでなく、人の意識を向上させなければ

結果 可決すべきものと決定

■介護保険特別会計補正予算

介護保険は3年ごとに事業計画を立てているが、現計画期間の見込みは、コロナの影響を考慮しておらず、当初の予算よりも実績が下回る見込みとなったためである。

問 今回の補正で、介護保険サービスの給付費を大幅に減額する理由を聞きたい。

答 介護保険は3年ごとに事業計画を立てているが、現計画期間の見込みは、コロナの影響を考慮しておらず、当初の予算よりも実績が下回る見込みとなったためである。

介護保険サービスの給付費を減額

問 装置は、あくまでも補助的手段であり、人がしっかりと確認することが重要とされている。そのため、幼稚園等へ巡回支援を行うアドバイザーによる現地での助言や、研修を通じた情報共有により安全対策を図っていきたくと考えている。

答 装置は、あくまでも補助的手段であり、人がしっかりと確認することが重要とされている。そのため、幼稚園等へ巡回支援を行うアドバイザーによる現地での助言や、研修を通じた情報共有により安全対策を図っていきたくと考えている。



運転手の車内確認時や、緊急時に幼児が押すボタンなどの安全装置

厚生委員会

開催日 3月16日

◎請願
■国民健康保険税の負担軽減を
求める請願

― 独自策を講じ、子どもの
国保税のさらなる軽減を

問 5年度に改定予定の市の国民健康保険(国保)税は値上げであり、国保加入者の生活を直撃する。よって、4月からの国保税の値上げを行わないこと、子どもの国保税のさらなる負担軽減のため、市独自の施策を講じることなどを求めるもの。

問 他自治体では、国保税の均等割額の独自の減免措置を行っている。市民生活が苦しい中、市独自の減免措置は。

答 一時的な収入減少や、短期的で特別な理由の範囲内であれば、市条例により減免している。恒常的・継続的な減免は、現行法では対応が困難であり、国からも適切ではないという通知が出ている。

問 国の制度で均等割の軽減措置を受けられる世帯数は。

答 5年度では、国保加入者の約半数の世帯が対象となる見込みである。

結果 不採択とすべきものと決定

都市環境委員会

開催日 2月27日

■八王子駅南口集いの拠点整備・運営事業契約の締結

― 集いの拠点の設計や建設、運営業務等の契約を締結

問 八王子駅南口集いの拠点の整備に伴い、旧八王子医療事務所庁舎の解体を行うことだが、実施時期は。

答 庁舎の解体は、本契約に含んでいる。契約締結後に事業者と協議していくが、5年度から解体工事に着手していく予定である。

問 医療刑務所跡地が、どのように集いの拠点に変わると考える。市民も非常に期待していると考える。市民向け見学会の実施について聞きたい。



4月に実施した市民向けの見学会

答 4年度は、地元町会への見学会を実施した。5年度は、4月に市民への見学会を大々的に開催する予定である。

開催日 2月10日、3月16日

◎継続審査中の請願

■由井事務所開設当時に八王子市が地元住民に約束した水路の改修工事及び近隣未舗装市道の舗装・雨水排水施設等工事の早期実施を求める請願

― 地元が要望する水路の蓋掛け工事等の早期実現を

◆採決を行わないことに決定し、審査未了となる。

請願の概要などは
ひびき267号
9ページへ↓



「ひびき」アンケート実施中

市議会ホームページでは、アンケートを実施しています。スマートフォンから二次元コードを読み込み、お答えいただけます。

皆さまのご感想をお待ちしています。



←アンケートはこちら

令和5年(2023年) 第1回定例会 議案等の審議結果一覧		会派の賛否							結果
		自民党	公明党	市民ク	共産党	立憲民	諸派		
市長提出議案 51件		付託委員	13人	10人	4人	3人	3人	4人	
人事	人権擁護委員の候補者の推薦 (小峰貴美子氏、清水弘美氏、田近秀子氏、福澤武文氏、西村智子氏、野上容子氏)	—	○	○	○	○	○	○	同意
4年度補正予算	一般会計補正予算 (第7号)	全	○	○	○	×	○	○1X3	可決
	国民健康保険事業特別会計補正予算 (第2号)	総・厚							
	後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)								
	介護保険特別会計補正予算 (第2号)	総	○	○	○	○	○	○	可決
	土地取得事業特別会計補正予算 (第1号)								
	借入金管理特別会計補正予算 (第3号)								
	給与及び公共料金特別会計補正予算 (第7号)	都							
駐車場事業特別会計補正予算 (第1号)									
契約	学校給食センター寺田新築工事請負契約の締結	文	○	○	○	○	○	○	可決
	学校給食センター寺田給排水衛生等設備工事請負契約の締結								
	学校給食センター寺田空調換気等設備工事請負契約の締結								
	スプーン等の取得	—							
	配膳台等の取得								
	学校給食センター檜原新築工事請負契約の変更	都	○	○	○	×	○	○	可決
	八王子駅南口集いの拠点整備・運営事業契約の締結								
その他	市道路線の認定	都	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の認定及び廃止								

市長提出議案 (続き)		付託委員会	会派の賛否							結果
			自民党	公明党	市民ク	共産党	立憲民	諸 派		
条例 (主な内容)	暴力団排除条例の一部改正 (根拠法令の変更により、引用法令や文言を整備)	—								可決
	社会福祉審議会条例の一部改正 (法改正に伴い、条例で引用する条項を改正)									
	保育の必要性の認定基準に関する条例の一部改正 (法改正に伴い、条例で引用する条項を改正)									
	一般職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部改正 (新型コロナに関する特殊勤務手当の支給期間を延長)									
	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正 (新型コロナに関する報酬の特例支給の規定の文言を修正)									
	情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例の一部改正 (市議会の個人情報の保護に関する条例制定に伴い、審査会の調査権限を追加)		総	○	○	○	○	○	○	
	情報公開・個人情報保護運営審議会条例の一部を改正する条例の一部改正 (市議会の個人情報の保護に関する条例制定に伴い、審議会の所掌事項を追加)		文							
	放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正 (省令改正に伴い、安全計画の策定等に関する規定を追加)		都							
	中小企業次世代人材確保支援条例の廃止(新たな定住促進施策に統合し、事業を廃止することにより、条例を廃止)									
手数料条例の一部改正 (法改正に伴い、建築物の認定制度に係る申請手数料を改正)										
市営住宅条例の一部改正(障害者に係る同居親族に関する要件を廃止)										
5年度 予算	一般会計予算	予								可決
	国民健康保険事業特別会計予算									
	後期高齢者医療特別会計予算									
	介護保険特別会計予算									
	母子・父子福祉資金特別会計予算		○	○	○	×	○	○2×2		
	土地取得事業特別会計予算									
	駐車場事業特別会計予算									
	借入金管理特別会計予算									
	給与及び公共料金特別会計予算									
	下水道事業会計予算									
5年度 予算 関連 [条例] (主な内容)	斎場条例の一部改正 (死亡者が市外の場合における火葬室の使用料を増額)	予								可決
	児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正 (省令改正に伴い、安全計画の策定等に関する規定を追加)									
	指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正 (省令改正に伴い、安全計画の策定等に関する規定を追加)									
	家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正 (省令改正に伴い、安全計画の策定等に関する規定を追加)									
	認定こども園の認定の要件並びに設備及び運営の基準に関する条例の一部改正 (省令改正に伴い、安全計画の策定等に関する規定を追加)									
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営の基準に関する条例の一部改正 (内閣府令の改正に伴い、条例で引用する条項を改正)									
	国民健康保険条例の一部改正(保険税率等の改定)									
	学童保育所条例の一部改正(南大沢学童保育所及び石川学童保育所を各市立小学校内の余裕教室に移転することに伴い、名称及び所在地を変更)									
	産業イノベーション条例設定(新たな課題への対応を踏まえた産業振興を推進するため、いきいき産業基本条例の全部を改正)									
	新産業センター条例の一部改正 (新産業開発・交流センターの入居施設である設計開発室を廃止)									
[その他]	環境学習センターの指定管理者の指定									
	包括外部監査契約の締結									
議員提出議案 1件		付託委員会	自民党	公明党	市民ク	共産党	立憲民	諸 派	結果	
意見書	安全保障関連3文書改定の撤回を求める意見書 ^{※2}	—	×	×	×	○	○	○	否決	
請 願		付託委員会	自民党	公明党	市民ク	共産党	立憲民	諸 派	結果	
件名	由井事務所開設当時に八王子市が地元住民に約束した水路の改修工事及び近隣未舗装市道の舗装・雨水排水施設等工事の早期実施を求める請願	都	第1回定例会の閉会をもって、審議未了							
	国民健康保険税の負担軽減を求める請願 ^{※2}	厚	×	×	×	○	×	○3×1	不採択	

○：賛成 ×：反対

<会派名>
 自民党：自民党新政会
 公明党：八王子市議会公明党
 市民ク：市民クラブ
 共産党：日本共産党八王子市議会議員団
 立憲民：立憲民主・市民の会
 諸 派：会派に所属しない議員

<付託委員会>
 総：総務企画委員会
 文：文教経済委員会
 厚：厚生委員会
 都：都市環境委員会
 全：4常任委員会(総・文・厚・都)
 予：予算等審査特別委員会
 一：付託せず

※1 議長を除く
 ※2 意見書・請願の内容はこちら⇒ 

レポート

の調査結果まとまる

常任委員会は、議会の政策立案機能をより強化するため、政策提案や提言を目指す所管事務調査に取り組みました。今回の提言は、2年間の調査の集大成となるものです。

報告書や提言など調査結果はこちら⇒



- 2/10 【調】 調査報告書・市政への提言の決定
- 2/22 本会議で五間委員長が調査結果を報告
提言を含めた報告書を議長に提出

【提言の主な内容】

テーマ①

- ★早期発見と早期支援体制の強化
- ★発達障害に関するさまざまな相談を総合的・横断的に対応できる体制整備
- ★行政・支援者・関係機関同士の連携強化

テーマ②

- ★福祉・教育・医療等との連携体制の整備
- ★子育てを応援・支える体制の整備
- ★子どもの権利を守るための取り組み

厚生委員会

所管事務調査テーマ

- ①幼少期における発達障害の現状・その相談支援体制
- ②こども基本条例に関する調査・研究



2/22 報告書を議長に提出

都市環境委員会

所管事務調査テーマ

水のまちづくり

- 2/10 【調】 調査報告書・市政への提言の決定
- 2/22 本会議で馬場委員長が調査結果を報告
提言を含めた報告書を議長に提出



2/22 報告書を議長に提出

【提言の主な内容】

- ★水辺活用の促進に向けた取り組みの継続
- ★恒常的な水辺活用の実現に向けた取り組みの推進
- ★事業効果を向上させるインフラ整備の推進とまちづくりへの展開



議会発 八王子の課題 市議会から市長に提言

- 3/28 常任委員会がまとめた市政への提言を
中島副議長・各常任委員長同席のもと、
吉本議長から市長へ提出しました。



左から 五間厚生委員長、岩田総務企画委員長、石森市長、吉本議長、中島副議長、馬場都市環境委員長、若尾文教経済委員長

議会活動

所管事務調査 2年間



市議会では議案審議や一般質問以外にも、さまざまな活動を行っています。
ここでは、常任委員会の所管事務調査など、主な活動をお知らせします。

総務企画委員会

所管事務調査テーマ

ポストコロナを見据えた危機管理の在り方



2/22 報告書を議長に提出

- 2/9 【調】 調査報告書・市政への提言の決定
- 2/22 本会議で岩田委員長が調査結果を報告
提言を含めた報告書を議長に提出
- 3/14 【報】 5年度の市の執行体制

【提言の主な内容】

- ★防災情報伝達における各プロセスの提言
市の情報収集／市からの情報伝達／
市民の情報の受容／市民の行動
- ★総括的な提言
防災・減災対策分野の積極的なデジタル技術の活用

- 2/9 【報】 夕やけ小やけふれあいの里リノベーション基本方針（素案）
- 3/14 【報】 小・中学校再編基本方針 など

◆文教経済委員会の所管事務調査結果は、昨年9月の本会議で若尾委員長が報告し、提言を含めた報告書を議長に提出しています。

文教経済委員会

所管事務調査テーマ

児童生徒の登校支援
～マンパワーとICTの活用～

【提言の主な内容】

- ★スクールソーシャルワーカーの体制強化
- ★児童・生徒の状況を適切かつ効率的に把握できるシステムの導入
- ★オンライン登校支援プログラムの作成と学びの保障



R4/9/22
報告書を議長に提出

ICT導入 検証会議

- 3/3 追加報告の検討
- 3/6 追加報告書を議長に提出

追加報告書等は
こちら⇒



【追加報告の主な内容】

- ★委員会のオンライン開催を可能にする委員会条例案の協議・改正
- ★議会のデジタル化に向けた設備の検討・予算要求
- ★発言通告書のオンライン提出の協議・決定

次回の定例会の主な予定

日	月	火	水	木	金	土
				6/1	2	3
令和5年(2023年) 第2回定例会 会期：6/8～6/26				招集告示日		
4	5	6	7	8 開会日 議会運営 [Ⓞ]	9	10
← 本会議(ネット) (一般質問) →						
11	12	13	14	15	16	17
← 本会議(ネット) (一般質問) →			議会運営 [Ⓞ] 本会議(ネット) (議案審議等)	総務企画 [Ⓞ] 文教経済 [Ⓞ]	厚生 [Ⓞ] 都市環境 [Ⓞ]	
18	19	20	21	22	23	24
			議会運営 [Ⓞ]			
25	26 最終日	本会議(ネット) (採決等) ④：委員会 (ネット)：市議会ホームページで中継 ●会議(議会運営④を除く)は、10時から開会します。 ●閉会中の議会日程は、市議会ホームページをご覧ください。 ●問い合わせ：議事課				

傍聴者からの声



まさに「地方自治は民主主義の学校」

藤川 幸久さん (館町) 転入して一年不足ですが、何かと前居住地の市政と比べてしまいます。さて、八王子市には市政全体としてどんな到達点と課題があり、市民として何を注目すべきか。会派代表質疑を傍聴し、市長の政治姿勢、環境、新型コロナ、学校教育など多角的な質疑と答弁を通じて、その疑問が少しだけ解けた気がします。「地方自治は民主主義の学校」と言われるとおりでですね。

なお、事前に配付された資料に、発言の題目及び要旨が詳細に書かれている議員の質疑ほど、聞きやすく感じました。また、傍聴席でメモを取りやすくなれば助かります。

次回の議場コンサート

本会議前に心温まる演奏をお楽しみください

日時：6月8日(木)の本会議前
午前9時30分～9時50分

受付：市役所3階 議事課(午前9時から受付開始)



演奏 = Ko.Fujimoto (ハーモニカ)

各定例会の初日に、議場でコンサートを開催しています。お気軽にお越しください。

なお、出演者も募集しています。

開催状況など最新情報は
こちら⇒



問い合わせ：庶務調査課

表紙写真を募集中!

「ひびき」の表紙写真を募集しています。採用者には、議長からの感謝状を贈ります。ご応募お待ちしております。

あなたの感動を「ひびき」で発信しませんか?

募集内容

夏をイメージした市内の行事・風景など、第2回定例会号(8月1日発行予定)の表紙にふさわしい写真
(写真の縦・横は問いません)

締切

6月30日(金)

応募方法は
こちら⇒



問い合わせ：庶務調査課

新議会の構成は臨時号で

市議会では、4月23日の市議会議員選挙に伴い、臨時会を5月中に開催し、議長など新たな市議会の構成を決定する予定です。

臨時会の内容や議員の紹介は、6月1日発行予定の「ひびき」臨時号でお知らせします。

■会議の様子はホームページで
本会議などの模様は、市議会ホームページで生中継するほか、おおむね7日後から録画を配信します。

会議の様子はこちら↓



■詳しくは会議録等で
本会議や各委員会の発言を掲載した「会議録」や「委員会記録」は、市立図書館等のほか、市議会ホームページでも閲覧できます。なお、5年第一回定例会の本会議の会議録は、5月下旬に完成予定です。

会議録はこちら↓



市議会からのお知らせ

発行 八王子市議会
編集 議会運営委員会
ホームページの検索は 八王子市議会 検索
〒192-8501 元本郷町3-24-1
議会事務局 庶務調査課
TEL 620-7311 FAX 626-2458
E-MAIL b241100@city.hachioji.tokyo.jp
議会事務局 議事課
TEL 620-7312